浜学園	4年		
	算数		
学習内容	11月の学習内容 No.33小数(3) No.34数の性質(3) No.35分数(3) No.36分数(4)・No.37『分数と小数』		
家庭学習ポイント	No.33小数（3）を終えると、No.34 数の性質(3) ではNo.35からの分数の単元に備え、倍数や約数の考え方を復習します。No.35『分数（3）』では分数で異なる分母同士の加減法や通分、約分の仕方を、No.36『分数（4）』では分数の掛け算や割り算のしかたを学習します。 分数の計算では、原則として既約分数で答えないと誤答となります。一見、約分できなさそうにも見えて実は約分できる、ということもあります。出した答えが既約分数になっているかどうかをよく確かめるようにしましょう。方法の1つとして「大きめの素数」で約分できないか検討する、というものがあります。11や13、17や19といった2桁の整数で約分できるケースがありますので、ぜひ試してみましょう。No.37『分数と小数』は分数と小数の関係や、分数と小数が混ざった計算です。分数と小数が混ざった計算を、すべて小数にして計算しようとすると、小数に直せない分数があったり、小数では割り切れないことがよくあります。基本的にすべて分数に直して計算しましょう。1/4＝0.25、3/4＝0.75といったよくでてくるものに関しては、覚えてしまうことが望ましいですね。		
課題の把握と解決策	チェック1	2つの整数の最小公倍数を正確に出せていますか？	チェック
	解決策	6と4の最小公倍数＝6×4＝24となるお子さんが少なくありません。正しい方法を確認しましょう	□
	チェック2	分数の計算を答えるときには、必ず既約分数にしていますか？	チェック
	解決策	特に大きな数字で検討がつきにくい場合は「大きめの素数で割れないか」を考えてみましょう	□
	チェック3	分数のかけ算、わり算の計算では、計算途中でこまめに約分できていますか？	チェック
	解決策	答えを出してしまってからの約分は（数が大きいので）大変です。途中で約分しましょう	□
	チェック4	1/4＝0.25、3/4＝0.75など、覚えていますか？	チェック
	解決策	できれば1/8＝0.125、3/8＝0.375、5/8＝0.625、7/8＝0.875も覚えたいですね	□
	チェック5	毎週の学習単元以外の復習ができていますか？	チェック
	解決策	図形や文章題など、コツコツと復習しておくと公開模試の対策になります	□

浜学園	4年		
	国語		
学習内容	11月の学習内容 33文法２単語の種類１ 34文法３単語の種類２ 35文法４単語の種類３ 36文法５文の種類 37詩（１）		
家庭学習ポイント	文法の単元で学習する「単語の種類」と「文の種類」は、文章を正確に読み進める上でも、記述問題を書く上でも、大切な要素です。「文の種類」に関しては、完璧に理解しておくことを目標にして下さい。「単語の種類３」の単元では、「副詞」「連体詞」「接続詞」「感動詞」「助動詞」「助詞」をまとめて学習します。内容的にも時間的にも、この週だけで完全に理解することは難しいと思います。いつもの週の2倍くらいの時間と労力がかかる内容です。多くの時間を取れない場合、「副詞」と「連体詞」の学習を優先しましょう。この２つの品詞を後に残すと、文法に対する苦手意識が生まれる原因となります。「文の種類」の単元では、主語と述語に注目しながら、「単文・重文・複文」の理解ができればひとまずOKです。37回からは詩の読解に入ります。詩は内容を短く表現するために、言葉が省略されています。比喩表現に気をつけながら、省略された言葉を補って考えることを意識しましょう。比喩は物語文でもよく使われますね。今回の単元を機会に、表現に慣れておくとよいでしょう。		
課題の把握と解決策	チェック1	動詞、形容詞、形容動詞の区別ができますか？	チェック
	解決策	言い切りの形に注目して見分けるといいですね	□
	チェック2	形容詞と連体詞を見分けられますか？	チェック
	解決策	形容詞は言い切りが「い」で終わり体言を修飾、つまり「大きい」は形容詞、「大きな」は連体詞	□
	チェック3	副詞と連体詞を見分けられますか？	チェック
	解決策	副詞は用言を修飾、連体詞は体言を修飾ですね	□
	チェック4	詩の表現技法「比喩」に慣れてきましたか？	チェック
	解決策	何を何に「たとえ」ているかを考えるとよいですね	□
	チェック5	国語の学習において、語彙を増やす大切さを理解していますか？	チェック
	解決策	語彙が増えると読解の精度も上がります。ぜひ続けてください	□

浜学園	4年		
	理科		
学習内容	11月の学習内容 No34　物質の温度と状態変化 No35　水と空気の膨張と収縮 No36　金属の膨張と収縮 No37　てことてんびん		
家庭学習ポイント	11月は物質の温度と状態変化、水と空気の膨張と収縮、金属の膨張と収縮、てことてんびんの学習をしていきます。膨張と収縮については、基本的に「温度が上昇する⇒体積が膨張し（大きくなる）、温度が下降⇒体積が収縮する（小さくなる）ということを理解しておく必要があります。ただし水については、体積が最小になるのが4℃であることをしっかり押さえておきましょう。水と空気の膨張と収縮については、水よりも空気のほうが大きく膨張、収縮することをしっかり押さえておきましょう。固体である金属などよりも傷気のほうが大きく膨張、収縮することについても同様ですね。また、金属の熱の伝えやすさは、熱を伝えやすい順番を押さえて問題に取り組むようにしましょう。てことてんびんについては、水平につり合う条件として、左右のモーメント計算の結果が等しくなることを使って解いていきます。正確に解く計算力が求められますので、普段の学習の中で、きちんと式を残しながら解いていくことが重要になります。		
課題の把握と解決策	チェック1	温度計の目盛りの読み方を言葉で説明できますか？	チェック
	解決策	「液面の正面から、凹んだ部分を読み取る」ですね	□
	チェック2	氷がなぜ水に浮くのか、言葉で説明できますか？	チェック
	解決策	「水が凍ると体積が大きくなるため、同じ体積で比べると水よりも軽くなるため」ですね	□
	チェック3	主な金属の熱の伝えやすさの順が答えられますか？	チェック
	解決策	伝えやすい方から「銀⇒銅⇒アルミニウム⇒鉄」ですね	□
	チェック4	てこのモーメント計算が正しくできていますか？	チェック
	解決策	「かかる力の大きさ×支点までの距離」ですね。支点までの距離を見誤るお子さんが多いです	□
	チェック5	季節に合わせた復習ができていますか？	チェック
	解決策	「秋だから七草を復習」「紅葉について調べる」といったことが公開テストに効きます	□

浜学園	4年		
	社会		
学習内容			
家庭学習ポイント			
課題の把握と解決策			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック
			□